

ユニセフ語り場 2018

3・11 わすれない

東日本大震災から7年。熊本地震から2年。
そして、九州北部豪雨から8ヶ月。

台風や集中豪雨による水害、地震、土砂災害など、自然災害はいつどこで発生するか分かりません。そんなとき、子どもたちの命を守り、災害後にもいち早く子どもたちにとっての「日常を取り戻す」ためにはどのようにしたらよいか、東日本大震災や熊本地震を経験した方のお話しから当時の様子を思い起こし、これからのわたしたちの備えについて語り合しましょう。

日時 2018年3月11日(日) 13:30～16:00 (受付13:00から)

会場 佐賀市立図書館2F大集会室 (佐賀市天神三丁目2-15)

参加費 無料 (どなたでもご自由にご参加ください)

プログラム

1. はじめに

2. 「東日本・津波・原発事故 大震災から7年 ～福島は今～」

福島県ユニセフ協会 佐藤一夫さん

3. 「熊本地震における支援活動」

熊本県ユニセフ協会 古閑幸世さん

4. だれもが安全に安心して暮らせるために

5. おわりに

(写真:石巻市立門脇小学校) 津波の高さ6m。
地震直後より裏山に避難。275名の子どもと迎えに来ていた保護者と住民40人は全員裏山に避難して無事。
その後校舎は炎に包まれ3日間燃えた。(©S/Tomi2011)